令和2年度 部の運営方針書

消防本部

1　部の運営方針

【部の使命】

消防本部は、その施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことにより、周南市の安心安全を確保します。

【部の目標】

① 本市西部地区の消防拠点となる西消防署の今年度中の運用開始を目指し、関係部署等と協力して円滑・着実に事業を推進します。
（令和2年度：西消防署改築工事、西消防署通信指令・消防無線移設等業務委託）

② 消防団の充実強化を図るため、熊毛地区の第2分団安田機庫の整備事業を推進するとともに、消防団車両の更新整備を行います。
（令和2年度：第2分団安田機庫改築工事、小型動力ポンプ付き積載車［3台］の更新配備等）

③ 高規格救急自動車の更新や救急救命士の養成により救急業務の高度化を推進するとともに、Net119緊急通報システム整備により消防通信指令体制の強化を図ります。
（令和2年度：高規格救急自動車の更新配備、指導救命士1名、救急救命士1名養成他）

④ 消防力の強化充実を図るため、消防車両及び消防機械器具の更新を行うとともに、消防水利の整備・維持を推進します。
（令和2年度：化学車Ⅱ型への更新整備、防火服等個人防火装備の更新配備など）

⑤ 火災等の被害を軽減するため、住宅用火災警報器の設置促進、文化財建造物等を含めた防火対象物の調査及び、危険物施設の保安管理を徹底します。

【働き方改革による業務改善等の取組】

〇本部内の各所属間における連携を密にし、効果的・効率的な業務を推進することで、時間外勤務の低減と年次有給休暇の取得に取組みます。

2　部の経営資源

（1）部の体制

職員数	209 人	うち	正職員	209 人	・	会計年度任用職員	人

人件費	正職員	1,534,896 千円	会計年度任用職員	千円

※H30職員平均給与（ 7,344 千円）ベース　※予算計上額

（2）事業規模

歳入予算額	1,276,236 千円	歳出予算額	3,520,742 千円	（正職員人件費を除く）	担当予算小事業数	21 事業	担当課数	9 課

消防本部

３　部の中期目標（優先順）　第２次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果　（最終目標）
1	４　安心安全 ２　消防・救急体制の充実 １　消防力の充実	○西消防署及び第2分団安田機庫の整備を実施し、消防力の充実強化と効果的な運用を行います。 ○消防車両、資機材及び消防水利施設の計画的な更新・保全を行い、消防力の確保に努めます。 ○多重無線設備の更新設計及びNet119緊急通報システムの構築により、安定的な消防緊急通信指令業務と、多様化する緊急通報に適切に対応します。 ○消防職団員の研修・教育を推進し、消防活動の質の強化に努めます。
2	４　安心安全 ２　消防・救急体制の充実 ２　救急救助業務の充実	○複雑多様化する救急救助業務に対応するため、効果的かつ計画的な車両・資機材の更新整備を行うとともに、職員の教育訓練を実施します。 ○医療機関等との連携強化を推進するとともに、救急業務の高度化に伴って必要となる救急救命士の養成に努めます。 ○救命講習の開催により、市民の応急手当に関する技術・知識等の向上を図るとともに、「＃7119」の活用を促すことで救急車の適正利用を広報し、救命率の向上を図ります。
3	４　安心安全 ２　消防・救急体制の充実 ３　予防体制の強化	○市民の生命、身体及び財産を火災から守るため、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進及び、住宅防火診断等を実施します。 ○小規模飲食店への消火器の設置指導や文化財建造物を含めた防火対象物の調査を実施します。 ○幼年・少年消防クラブや婦人防火クラブの活動を支援するとともに、市民に対する防火講習会や訓練を通じて、火災予防の推進を図ります。 ○石油コンビナート企業をはじめとする危険物施設に対し、適切な指導を行うとともに、事業者との連携を図りながら災害防止に努めます。